

箱根町立郷土資料館

館 報

第 31 号

2015.3

はじめに

本書は、箱根町立郷土資料館が平成25年度中に行ってきた諸活動について、報告するものです。Ⅰ管理・運営、Ⅱ教育普及活動、Ⅲ郷土資料収集管理の3章に分けて構成いたしました。

資料館活動の中心となる教育普及活動では、特別展『バス、天下の険をいくー箱根の自動車100年』を開催いたしました。これは大正初期に、箱根山周辺に自動車会社が開業してから約100年となるため、これを記念し、近代の自動車事業の果たしてきた役割について紹介したものです。この特別展のほかには、企画展として江戸時代の礎石等の遺構や陶磁器片を通じて近世の箱根を紹介した『出土遺物からみる近世の箱根』、近代に建てられた別荘・旅館の建物や、鉄橋・砂防堰堤といった土木構造物を紹介した『箱根の登録文化財』を開催いたしました。また常設補完展として、地質時代にはじまり、旧石器から弥生時代の石器や土器、箱根権現の成立や鎌倉幕府の二所詣、元箱根石仏群など箱根の古代・中世を紹介した『箱根のはじまり』を行いました。

また教育普及活動として、箱根関所・郷土資料館での「わらじ歩き体験」や「正月飾りを作ろう」、「お正月を楽しむ会」などの体験学習を開催し、箱根の伝統文化を幅広く知っていただくことができました。その他にも、文化財探訪会（現 箱根探訪会）や自治学習出張講座などを行い、多くの方々にご参加いただき、充実した活動を展開することができました。今後共こうした活動をとおして、郷土資料館が多くの皆様に有効に活用していただけるよう、努力していきたいと思っております。

なお、入館された方々が自由に記入できる雑記ノート（平成25年度分）から一部の方々の感想を抜き出し、「入館者の声」と題して掲載いたしました。

末筆になりましたが、展示開催はじめ、各種事業の実施に際しまして、お世話になりました関係各位には、深く感謝申し上げます。

平成27年3月

箱根町立郷土資料館

館長 鈴木康弘

目 次

I	管理・運営	
1	郷土資料館の概要	1
	(1) 役割 (2) 事業 (3) 施設概要 (4) 組織	
2	郷土資料館運営懇話会	2
	(1) 委員名簿 (2) 開催状況	
3	平成 25 年度予算	3
4	平成 25 年度入館状況	3
5	年度別入館者の推移	4
6	図書室利用者数一覧	4
7	資料館 1 年の歩み	5
II	教育普及活動	
1	展示開催	7
2	文化財探訪会	11
3	体験学習	14
4	講座・展示解説等	16
III	郷土資料収集管理	
1	受贈図書一覧	18
2	資料貸出及び提供一覧	22
3	寄贈資料・購入図書一覧	25
4	資料館で出版した冊子	26
	(1) 箱根叢書 (2) 郷土資料館資料集 (3) 調査研究報告書	
	(4) 企画展展示図録他 (5) 館報 (6) OneCoin シリーズ	
	箱根町立郷土資料館条例他	29
	・付記	
	入館者の声	31

I 管理・運営

1 郷土資料館の概要

(1) 役割

箱根山に生活し、またここを通過した人々の足跡を後世に伝えること、そしてこれらをもとに、今日の私たちの生き方やこれから先の生活を考えていくことは、現在に生きる私たちの責任である。

郷土資料館は、この考えのもと、箱根の考古・歴史・民俗資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに展示公開して、町民の文化の向上等に資する役割を担っているものである。

(2) 事業

ア 性格の位置付け

(ア) 箱根山の歴史や文化に関する資料を収集し、保管し、調査研究して、教育普及活動に供する。

(イ) 考古、歴史、民俗資料を取り扱う人文系博物館で、生涯学習を推進する実物教育機関とする。

(ウ) 箱根町の学校や諸文化施設との連絡を密に取り、箱根町の文化振興に寄与する。

イ 事業

(ア) 収集 箱根山の歴史、文化に関する資料を、町内外を問わず収集する。

(イ) 保存 収集した資料の保存には万全を期し、後世に伝えていく。

(ウ) 調査研究 考古、歴史、民俗の各資料の調査研究を行うほか、展示技術・保存技術に関する調査研究を行う。

(エ) 教育普及 各種展示の開催のほか、必要な刊行事業、研究会、講習会を教育的配慮のもとに行う。

(3) 施設概要

・所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本266番地				
・敷地面積	1,481.67㎡	・建築面積	737.707㎡	・延床面積	1,979.183㎡
・建物高	19.666m	・構造規模	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建		
・開館	昭年58年7月21日				

(主な部屋の面積)

(単位 ㎡)

B 1	荷降場・荷捌室 136.50				
1 F	特別収蔵庫 46.17	第1収蔵庫 133.46	第2収蔵庫 35.38	文書収蔵庫 68.85	
	研究室 26.25	工作室 42.24	写場 68.50	燻蒸室 17.04	
2 F	教育委員会事務室等 158.1				
	学習室 98.22	図書室 75.87			
3 F	常設展示室 214.13				
	特別展示室 100.20				

※特別収蔵庫…主に寄託・借用資料

※第1収蔵庫…木製品中心の民俗資料

※第2収蔵庫…土、石製品中心の考古資料

※文書収蔵庫…紙製品中心の歴史資料

(4) 組織

教育長 — 生涯学習課長 — 館長 — 学芸員 2 名、事務員 2 名
— 受付事務 3 名 (非常勤職員)

職員名簿 (平成25年 4 月 1 日現在)

教育長	小林 恭一	主任学芸員	野坂 優介
課長	大和田 公一	主 事	秋元 恵里子
館長	鈴木 康弘	主事補	水田 彬寛
副技幹	高橋 一公		

2 郷土資料館運営懇話会

郷土資料館活動をより効果的に進めることを目的に調査・研究し、意見・提言を行う会で、自治会連絡協議会・社会教育関係団体・町立小・中学校教諭・有識者から構成されている。

(1) 委員名簿 (任期・平成25年 4 月 1 日～26年 3 月31日)

氏名	所属
福住 幸次	自治会連絡協議会
内田 良雄	自治会連絡協議会
土屋 克夫	自治会連絡協議会
勝俣賀寿代	女性会連絡協議会
鈴木 太源	文化財保護委員会
福住 治彦	有識者
木村 正憲	有識者
力石 和則	校長会 (湯本小学校教頭)

(2) 開催状況

- ・ 第 1 回 平成25年 6 月20日 (木) 13時30分～15時
会議内容 (1)平成25年度の主な館活動について
(2)その他
- ・ 第 2 回 平成25年11月12日 (火) 10時～12時
会議内容 (1)平成25年度上半期活動報告
(2)平成25年度下半期の活動予定について
(3)その他
- ・ 第 3 回 平成26年 2 月27日 (木) 10時～12時
会議内容 (1)平成25年度下半期活動報告
(2)平成26年度の活動計画について
(3) その他

3 平成25年度予算

(単位：千円)

節	金額	内 容
賃 金	2,023	事務補助員賃金
報 償 費	60	運営懇話会謝礼・体験学習時講師謝礼
旅 費	42	企画展・資料収集等旅費
需 用 費	6,478	
消耗品費	419	一般消耗品・企画展体験学習時消耗品
食糧費	26	体験学習時材料代
印刷製本費	565	館報印刷・入館券・パンフレット・企画展関係印刷
光熱水費	5,408	電気・水道・ガス代
修繕料	60	館内修繕等
役 務 費	141	消防設備点検、企画展ポスター掲載料
委 託 料	5,113	清掃及び機械設備保守管理・警備委託等
使用料及び賃借料	18	テレビ受信料・道路通行料
負担金補助金 及び交付金	65	県博物館協会負担金・わらじ体験関係補助金
合 計	13,940	

4 平成25年度入館状況

(単位：人、入館料は円)

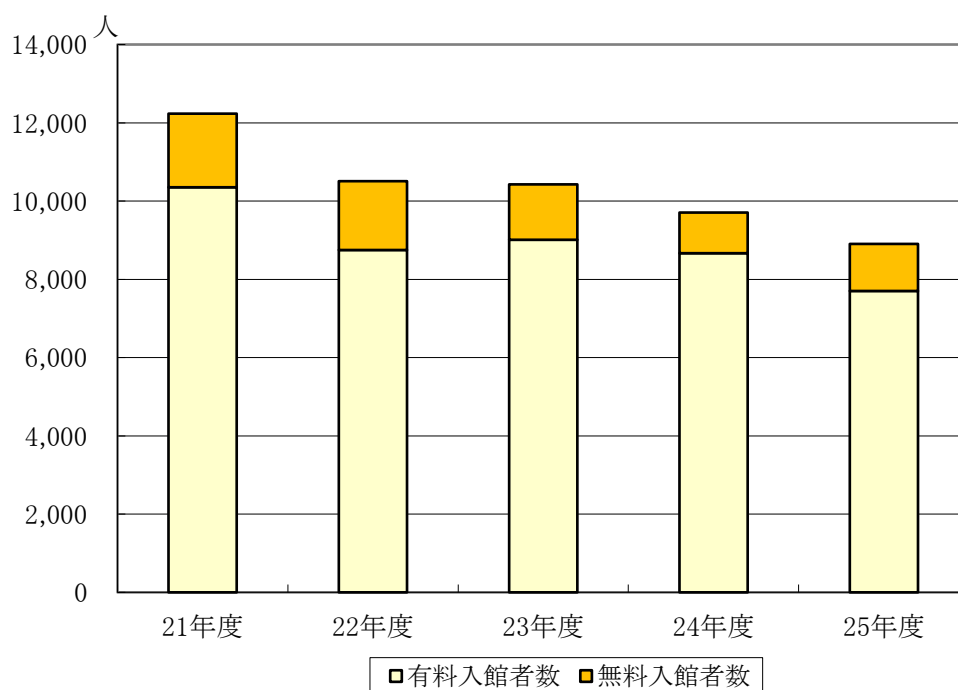
	有 料								無 料						合 計			
	個 人		団 体		割 引		小 計		町 外		町 内		小 計		合 計		入館料	
	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中		
4月	364	10	0	0	210	2	574	12	16	8	16	0	32	8	606	20	626	104,750
5月	453	18	30	119	263	0	746	137	46	36	5	0	51	36	797	173	970	141,660
6月	314	2	0	0	288	11	602	13	6	5	21	11	27	16	629	29	658	106,600
7月	317	14	0	85	201	3	518	102	26	23	47	79	73	102	591	204	795	98,360
8月	516	27	0	0	350	26	866	53	63	66	45	3	108	69	974	122	1,096	158,660
9月	257	0	29	0	235	19	521	19	10	17	12	0	22	17	543	36	579	98,850
10月	249	1	91	0	192	10	532	11	26	8	32	1	58	9	590	20	610	145,860
11月	415	7	93	0	285	7	793	14	68	26	41	0	109	26	902	40	942	207,280
12月	255	6	23	65	251	1	529	72	22	91	20	0	42	91	571	163	734	95,650
1月	239	2	20	0	150	0	409	2	69	27	26	68	95	95	504	97	601	73,260
2月	310	0	20	0	161	0	491	0	15	11	15	2	30	13	521	13	534	88,710
3月	360	10	45	0	261	7	666	17	32	31	4	10	36	41	702	58	760	118,680
合計	4,049	97	351	269	2,847	86	7,247	452	399	349	284	174	683	523	7,930	975	8,905	1,438,320

※小中は小中学生

5 年度別入館者の推移

(単位：人、入館料は円)

年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
有料入館者数	10,351	8,746	9,012	8,670	7,699
無料入館者数	1,886	1,761	1,417	1,036	1,206
総入館者数	12,237	10,507	10,429	9,706	8,905
入館料	1,774,050	1,629,330	1,561,470	1,501,520	1,438,320



6 図書室利用者数一覧

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成21年度	6	3	2	0	6	2	6	0	9	14	5	8	61
平成22年度	5	9	9	8	11	3	11	3	2	4	4	1	70
平成23年度	1	2	9	8	16	6	14	8	6	7	5	6	88
平成24年度	13	11	4	11	5	6	16	7	9	15	8	13	118
平成25年度	15	15	21	2	8	14	7	12	8	11	56	6	175

7 資料館1年の歩み

25年	4月	8日	全国博物館協会合同部会
		15日	歴史授業(仙石原小学校)
		19日	神奈川県博物館協会合同部会
	5月	8日	ボランティア
		15日	ボランティア
	6月	8日	ミュージアムリレー(箱根関所)
		18日	わらじづくり(仙石原小学校)
		19日	ボランティア
		20日	第1回運営懇話会
		25日	わらじづくり(箱根の森小学校)
		27日	わらじづくり(湯本小学校)
		28日	ヒメハルゼミ認定講座
	7月	3日	ボランティア
		5日	神奈川県博物館協会合同部会
		11日	第1回文化財探訪会
		19日	ボランティア
		19日	自然に親しむ運動
		20日~9月16日	企画展『箱根の登録文化財』
		23日	小学校三校わらじ歩き
		25日	箱根の森小学校サマースクール
		26日	湯本小学校サマースクール
		30日	体験学習「わらじを履いて関所を歩こう」(会場:箱根関所)
			ボランティア
	8月	7日	ボランティア
		8日	箱根中学校ふれあいボランティア
		20日	ボランティア
		24日	体験学習「わらじ歩きにチャレンジ」(会場:郷土資料館)
	9月	7日	ボランティア
		13日	神奈川県博物館協会合同部会
		18日	第2回文化財探訪会
		26日	ボランティア
		28日~11月24日	特別展『バス、天下の険をいく』
	10月	2日	ボランティア
		21日	自治学習出張講座(函嶺白百合学園)
		22日	自治学習出張講座(函嶺白百合学園)
		25日	自治学習出張講座(函嶺白百合学園)
	11月	6日	ボランティア
		9日	神奈川県博物館協会合同部会
		12日	第2回運営懇話会開催
		20日	第3回文化財探訪会

		28日	ボランティア
		30日～ 平成26年9月30日	常設展補完展示開催「箱根のはじまり」
	12月	4日	ボランティア
		6日	仙石原小学校歴史授業
		12日	神奈川県博物館協会合同部会
		16日	第4回文化財探訪会
		19日	神奈川県博物館協会合同部会
		20日	神奈川県博物館協会合同部会
			ボランティア
		27日	体験学習「正月飾りを作ろう」
26年	1月	7日	体験学習「お正月を楽しむ会」
			ボランティア
		15日	ボランティア
		31日	第5回文化財探訪会
	2月	1日～（通年）	からくり細工にチャレンジ
		5日	ボランティア
		8日	神奈川県博物館協会シンポジウム
		19日	ボランティア
		21日	神奈川県博物館協会合役員会
		21日	湯本小学校・箱根の森小学校授業
		24日	箱根の森小学校授業
	27日	第3回運営懇話会	
	3月	1日～（通年）	彩色写真にチャレンジ
		3日	第6回文化財探訪会
		5日	ボランティア
12日		神奈川県博物館協会	
17日		湯本小学校 民具展	
19日		ボランティア	

II 教育普及活動

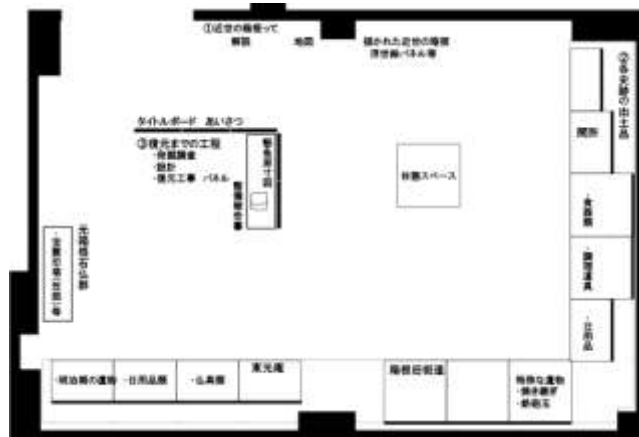
1 展示開催

(1) 企画展など

ア、企画展『出土遺物からみる近世の箱根』

箱根町には江戸時代の史跡が残っており箱根関跡と東光庵は復元整備がされて当時の姿によみがえっている。整備のために行われた発掘調査で検出し、建物復元の基礎資料となった礎石等の遺構や、陶磁器片をはじめとする多くの出土遺物を紹介した。

- ・期 間 平成 25 年 3 月 16 日（土）
～ 7 月 14 日（日）
- ・場 所 郷土資料館特別展示室
- ・入館者数 2,990 名



イ、企画展『箱根の登録文化財』

近代に建てられた別荘・旅館の建物や、鉄橋や砂防堰堤といった土木構造物は現在も残され、現役で使用されているものもある。それらの一部は国の文化財に登録されており、箱根の近代化を物語る歴史的資産として保存活用がされていることから、写真や図面を通して箱根の近代化の歩みを紹介した。

- ・期 間 平成 25 年 7 月 20 日（土）
～ 9 月 16 日（月）
- ・場 所 郷土資料館特別展示室
- ・入館者数 1,771 名



展示正面風景

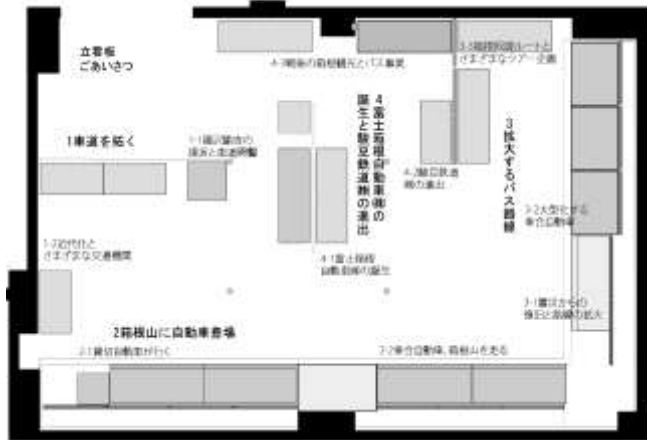


展示内風景

ウ、特別展『バス、天下の険をいく―箱根の自動車 100年』

箱根・小田原地方にハイヤーやバスなどの公共自動車事業が大正初期に開始されてから、約100年となることから、これらの自動車事業に関する大正から昭和にかけての諸資料を展示し、近代箱根の観光史の中で自動車事業の果たしてきた役割について紹介した。

- ・期 日 平成25年9月28日(土)～11月24日(日)
- ・場 所 郷土資料館特別展示室
- ・入館者数 1,499名



展示内風景

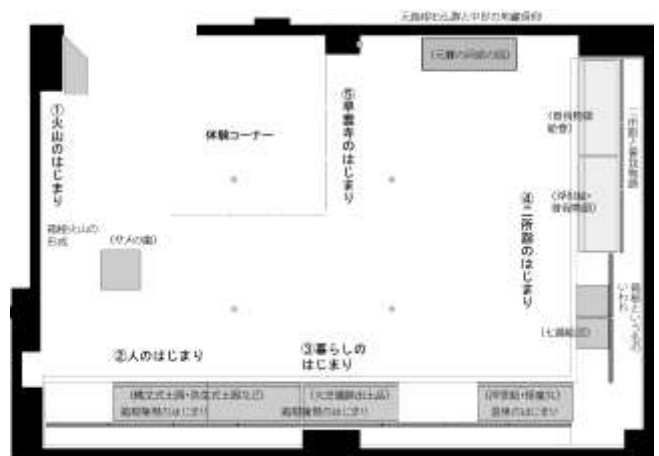


展示説明会時

エ、常設補完展示『箱根のはじまり』

企画展を開催していない期間の特別展示室の利用として、常設展示を補完する展示を行った。箱根ジオパークの拠点施設として、地質時代にはじまり、旧石器から弥生時代の石器や土器、箱根権現の成立や鎌倉幕府の二所詣、元箱根石仏群など箱根の古代・中世を紹介した。

- ・期 日 平成25年12月1日(日)～平成26年9月30日(火)
- ・場 所 郷土資料館特別展示室
(展示開催期間は「展示室1」と改称)





展示正面風景



展示内風景

(2) その他の展示・体験学習コーナー

ア、WORKSHOP ミニわらじ作りコーナー

材料は直径1ミリの紙紐を使用し、使用する長さに切り揃えて用意しておき、来館者は自由に材料を使い作成することができる。作成料は無料(入館料のみ)で、出庫数からみると、入館者の16%ほどが作成している。

12月1日から場所を廊下から展示室1（特別展示室）に移設した。

	入館者 (人)	わらじ紐 使用数 (本)	備 考
4月	626	73	
5月	944	133	
6月	658	76	
7月	795	120	
8月	1,096	173	
9月	579	82	
10月	610	54	9～11日まで臨時休館
11月	942	113	
12月	734	106	28～31日まで休館
1月	601	130	1～4日まで休館
2月	534	147	
3月	760	252	
合 計	8,879	1,459	利用率16.4%

イ、からくり細工にチャレンジ

箱根細工のひとつ、からくり細工(組木細工)を体験できるコーナーを設け、来館者に自由に体験してもらった。

- ・期 間 通年



ウ、七湯パズル体験

町重要文化財『七湯の枝折』の一部の画面をパズルにして来館者に楽しんでもらった。江戸時代の温泉場の様子を紹介する資料であり、パズルを楽しみながら温泉場の様子を知ることができる。

- ・期 間 平成 26 年 2 月 1 日(土)～2 月 28 日(金)



エ、彩色写真にチャレンジ

横浜写真のような彩色を疑似体験できるように、古写真を色鉛筆で塗ってもらう。

- ・期 間 平成 26 年 3 月 1 日(土)～(通年)



塗り絵風景



上 見本図、左 用紙、右 完成図

2 文化財探訪会

(1) 第1回文化財探訪会「富士屋ホテル探訪会」

町内には、多くの近代建造物が残されているが、そのうち富士屋ホテルは、明治時代の建築当時「東洋一のホテル」とも言われ、外国人から大変な人気を集めていた。平成10年には、各建造物が国登録有形文化財建造物として登録され、現在でも当時の建物で変わらず営業を続けていることから、その歴史についての理解を深めることを目的に開催した。

- ・開催日時 平成25年7月11日(木) 10:00(受付)～15:00(解散)
- ・案内 富士屋ホテル職員・野坂優介(当館)
- ・参加人数 50名



文化財登録制度解説風景



花御殿内資料展示見学風景



庭園見学風景

(2) 第2回文化財探訪会「宮城野・明神ヶ岳探訪会」

今回は文化財探訪会(文化財係)・自然探訪会(生涯学習係)との合同企画で実施した。宮城野の本村を抜け、途中外窪の湧水や諏訪神社での歴史物解説後、登山道へと入った。秋にみられる山地の植物の観察、石碑など歴史的観点、ジオパーク的な視点からの説明などを複合的な見方からの探訪会を行った。

- ・開催日時 平成25年9月18日(水) 9:00(受付)～15:00(解散)
- ・案内 渡邊建雄(社会教育指導員)・高橋一公(当館)
- ・参加人数 21名



外窪の用水



明神ヶ岳山頂付近

(3) 第3回文化財探訪会「松の茶屋探訪会」

湯本地域にある別荘のうち、「松の茶屋」は別荘として使用された後に、増改築がされ、旅館として使用されていた。箱根の山々を背景に最高の料理を供する宿としてすでに増築中より広く知られ、著名な文化人が多く訪れていた。平成25年3月には、登録文化財に登録されたことから、箱根の歴史や文化財保護の取り組みについて周知するため開催した。

- ・開催日時 平成25年11月20日（水）午前の回、午後の回
- ・案内 三井文庫職員・野坂優介（当館）
- ・参加人数 各回20名



松の茶屋庭園からの風景



三井の歴史解説風景

(4) 第4回文化財探訪会「宮ノ下れきし散策」

宮ノ下地域周辺には、江戸時代に箱根七湯と数えられた温泉場のうち、宮ノ下、底倉、堂ヶ島が集まり、戦国時代から近代に至るまでの名残が各所に見える。そこで、それら旧跡の見学を通じて、箱根の歴史を学ぶことを目的とし開催した。

- ・開催日時 平成25年12月16日（月）9:30（受付）～15:00（解散）
- ・案内 野坂優介（当館）
- ・参加人数 15名



光喜号(旧宮ノ下郵便局)見学風景



山田屋解説風景

(5) 第5回文化財探訪会「宮城野散策（道祖神めぐり）」

宮城野は、顕著な観光地ではないが、諏訪神社の湯立獅子舞や虫送り神事など伝統的な行事、路傍には道祖神や水神が多く残され、人々の信仰の様子がうかがえることから宮城野の魅力の再発見を目的に開催した。午前は、ワンコインシリーズのガイドブックを片手に宝珠院や外窪の天王社などを見学し、午後は向の道祖神、諏訪神社方面の散策をした。

- ・開催日時 平成26年1月31日（金）9:30（受付）～15:00（解散）
- ・案内 高橋一公（当館）
- ・参加人数 23名



向いの道祖神説明風景



諏訪神社説明風景

(6) 第6回文化財探訪会「湯場の歴史探訪会」

湯本地域は、天平10年（738）の開湯伝承が伝わるなど、箱根の中でも古い歴史を持ち、鎌倉時代には湯坂路の登り口にある宿場として、江戸時代には江戸などからの湯治客でにぎわう湯治場として発展をし、江戸時代に創業した福住旅館など老舗旅館も多く残っている。そこで、それら旧跡や文化財建造物の歴史を学ぶことを目的に開催した。

- ・開催日時 平成26年3月3日（月）10:00（受付）～15:00（解散）
- ・案内 野坂優介（当館）
- ・参加人数 25名



福住旅館解説風景



吉池旅館別荘解説風景

3 体験学習

(1) わらじ歩き体験学習

箱根地域の特色を発信し、楽しみながら歴史学習ができる場を開いた。

① 「わらじを履いて関所を歩こう」

- ・日 時 平成 25 年 7 月 31 日 (火) 11 時～15 時
- ・場 所 箱根関所
- ・参加者 98 名



受付場所



わらじ試履風景

② 「わらじ歩きにチャレンジ」

- ・日 時 平成25年8月24・25日 10時～15時30分
- ・場 所 箱根町立郷土資料館エントランス
- ・参加者 14名



受付場所



わらじ試履風景

(2) 『正月飾りを作ろう』

仙石原に伝わる正月の玄関飾りを作る講習会を開いた。

- ・日 時 平成 25 年 12 月 27 日 (金) 10 時～12 時
- ・場 所 仙石原文化センター屋外
- ・参加者 15 名



説明風景



玄関飾り作成風景

(3) 『お正月を楽しむ会』

正月の伝統行事である七草がゆ作りと、その試食を通して、箱根地方に伝わる年中行事を体験し、町民や観光客の方に箱根の民俗文化について紹介した。

- ・日 時 平成26年 1 月 6 日 (月)
9 時30分～ お正月遊び開始 (百人一首、かるた、だるま落とし等)
七草がゆ作りの実演
11時～ 七草がゆの試食
- ・場 所 郷土資料館前駐車場、郷土資料館エントランス及び特別展示室
- ・協 力 箱根町女性会連絡協議会
- ・参加者 240名



七草がゆ調理



箱根かるた遊び



湯本幼児学園園児試食

4 講座・展示解説等

(1) 講座開催実績

本年度の講座開催は、表のとおり 31 回を数え、延べ 1,441 名の受講者を得ることができた。なお表中の種別に「自治」とあるのは、自治学習出張講座として開催したもの、「自主」は、郷土資料館活動として企画・開催したもの、「依頼」は、主に町外諸団体から直接郷土資料館へ依頼があったもので、依頼内容や講座開催の趣旨を協議したうえ、郷土資料館として対応すべきと判断したものについて、学芸員の派遣を行ったものである。

回	月	日	人数	受講者	種別
1	4	15	25	歴史授業(仙石原小学校)	自主
2	5	24	6	湯本小学校特別支援学級	依頼
3	5	30	13	東京学芸大学附属大泉小学校	依頼
4	6	8	23	ミュージアムリレー(箱根関所)	依頼
5	6	18	25	わらじ作り(仙石原小学校)	依頼
6	6	25	27	わらじ作り(箱根の森小学校)	依頼
7	6	27	25	わらじ作り(湯本小学校)	依頼
8	6	28	20	ヒメハルゼミ認定講座	依頼
9	7	11	50	第1回文化財探訪会 富士屋ホテル	自主
10	7	23	77	三校わらじ歩き体験	依頼
11	7	25	27	箱根の森小学校サマースクール	依頼
12	7	26	25	湯本小学校サマースクール	依頼
13	7	30	98	わらじを履いて関所を歩こう(会場:箱根関所)	自主
14	8	2	160	県内臨時研修会 川崎市小学校社会科研究会	依頼
15	8	8	5	箱根中学校ふれあいボランティア	依頼
16	8	24・25	14	わらじ歩きにチャレンジ(会場:郷土資料館)	自主
17	9	18	21	第2回文化財探訪会 宮城野・明神ヶ岳	自主
18	10	21	43	函嶺白百合学園わらじ事前学習	自治
19	10	22	43	函嶺白百合学園わらじ作り	自治
20	10	25	43	函嶺白百合学園わらじ歩き体験	自治
21	10	28・31	65	平成25年度キャンパスおだわら講座「北条五代百年の“その時”」	依頼
22	11	4	200	早雲寺寺宝公開解説	依頼
23	11	20	38	第3回文化財探訪会 松の茶屋	自主

24	12	6	25	仙石原小学校歴史授業	依頼
25	12	16	15	第4回文化財探訪会 宮ノ下れきし散策	自主
26	12	27	15	正月飾りを作ろう	自主
27	1	6	240	お正月を楽しむ会	自主
28	1	31	23	第5回文化財探訪会 宮城野散策	自主
29	2	21	25	湯本小学校 授業	依頼
30	2	24	中止	箱根の森小学校 授業	依頼
31	3	3	25	第6回文化財探訪会 湯場の歴史探訪会	自主
合計			1,441		

(2) 展示解説

毎週土日及び祝日の10時から11時、13時から14時の間に常設展示の開設を希望する入館者に展示解説を行う。本年では試行として当日在館する学芸員がその都度対応した。

展示案内実績

月	実施回数	入館者	受付回数	人数	平均人数
4	3	226	1	2	2.0
5	7	438	4	11	2.8
6	10	309	5	21	4.2
7	9	240	6	13	2.2
8	9	368	1	4	4.0
9	11	234	0	0	0.0
10	9	196	1	15	15.0
11	10	369	1	3	3.0
12	8	180	0	0	0.0
1	10	219	0	0	0.0
2	9	194	1	1	1.0
3	11	310	3	6	2.0
計	106	3,466	23	76	3.3

Ⅲ 郷土資料収集管理

1 受贈図書一覧

寄 贈 者	名 称
世田谷区教育委員会	世田谷叢書 第7集 下掃除関連史料
海老名市	海老名市史10 えびな歴史ものがたり 下
逗子市教育委員会	神奈川県逗子市 埋蔵文化財緊急調査報告書8
大磯町郷土資料館	大磯町年報 平成23年度
寒川町史編集委員会	寒川町史研究 第25号
成田山文化財団	平成24年度 成田山文化財団年報 第4号
松田町自然館	美しい松田の自然 身近な自然のガイドブック
ケンペルとバーニーを讃える会	第27回 ケンペル・バーニー祭
川崎市市民ミュージアム	川崎市市民ミュージアム紀要 第25集
板橋区立郷土資料館	板橋区立郷土資料館紀要第19号 年報第24号・第25号
横浜市資料室	市史通信 第16号
三芳町教育委員会	町内遺跡発掘調査報告書Ⅷ
洞爺湖町教育委員会	国指定史跡入江・高砂貝塚
小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化研究報告 No. 49
富士吉田市歴史民俗博物館	富士吉田市歴史民俗博物館だより
厚木市	厚木市史だより 第8号
横浜市史資料室	報告書 ヨコハマの台所～高度経済成長期の横浜市中央卸売場～
横須賀市教育委員会	横須賀市文化財調査報告書 第50集 埋蔵文化財発掘調査概報集XX 近代遺跡・近代遺産調査概報集Ⅵ 平成22・23年度新指定重要文化財等調査報告
二本松市教育委員会	二本松城跡ⅩⅧ 平成25年度整備事業報告書
開成町教育委員会	開成町の戦争体験
藤沢市教育センター・教育史編集会議編	教育アーカイブズ ふじさわ 9号
三島市教育委員会	三島宿関係史料集6 三島宿助郷関連文書
原書房	観光学全集 第4巻 観光行動論
町田市教育委員会	自由民権
横浜市ふるさと歴史財団	横浜開港資料館 第31号
座間市教育委員会	座間むかしむかし 第35集
茅ヶ崎市文化資料館	文化資料開館調査研究報告22
奈良文化財研究所	遺跡情報交換標準の研究 第3版
横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館資料集 第37号
東京家政大学博物館	東京家政大学博物館紀要 第18集
山北町地方史研究会	足柄乃文化 第40号
町田市博物館	町田市立博物館所蔵 民俗資料目録
斎藤建設	神奈川県藤沢市西富貝塚 (NO. 46遺跡) 第7次発掘調査報告書
板橋区教育委員会	歴史民俗研究 第11輯 桜井徳太郎賞受賞論集
鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財16 平成23年度発掘調査の概要 〈玉縄〉
神奈川県立博物館	神奈川県立歴史博物館年報 平成23年度
湘風舎	湘南百選 2013年夏号
地域資源発掘発信事業実行委員会	つなぐべき小田原の智慧 技人 相模人形芝居 下中座 岸忠義

寄 贈 者	名 称
横浜植物会	横浜植物会年報42
沼津市明治史料館	沼津市明治史料館史料目録36 沼函側侯所文書目録
(続) 藤沢市史編さん委員会編	藤沢市史研究46
大手前大学史学研究所	播磨六箇寺の研究1 書写山園教寺の歴史文化遺産(1)
まちミュー友の会	早川町雨畑編 雨畑湖の集落を散策し、雨畑真石の坑道を見学する
国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所	南アルプスの奥懐・日本一深い溪谷の郷 早川の谷・風土絵図
勝俣正次	箱根用水史考
神奈川県温泉地学研究所	神奈川県温泉地学研究所観測だより 特別号
豊橋二川宿本陣資料館	美濃路展
風人社	ウォークマップ ホントに歩く東海道 第3集 大磯～箱根関所
斎藤茂吉記念全国大会運営委員会	斎藤茂吉記念歌集
国立ハンセン病資料館	国立ハンセン病資料館研究紀要
江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第3号
秦野市教育委員会	神奈川県秦野市太岳院遺跡・尾尻尾崎遺跡・水神遺跡・今泉西掘遺跡
武蔵文化研究所	神奈川県相模原市 中村遺跡第5地点
大和市	大和市史研究
大佛次郎記念館	おさらぎ遺書
長野市立博物館	長野市立博物館紀要 第14号(人文系)
日本大学生物資源科学部博物館	日本大学生物資源科学部博物館 博物館報
神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館年報 平成24年度
中間市教育委員会	中間の歴史を知っていますか?
相模原市教育委員会	相模原市史ノート
群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館紀要
日本温泉文化研究会	温泉の原風景 論集 温泉学Ⅲ
県央史談会	県央史談
戦時下の小田原地方を記録する会	戦争と民衆
伝統文化活性化国民協会	伝統文化 2013 夏 No. 48
講談社	戦国大名の「外交」
随想舎	栃木ゆかりの歴史群像 日本史上の人物と地域との関わり
箱根強羅観光協会	強羅
神奈川の自然と環境を守る連絡会	かながわグリーンネット28
箱根ガラスの森	時空を超えた東西の技 モザイク美の世界
神奈川文学振興会	神奈川近代文学館年報
國學院大學文学部考古学研究室	穂高古墳群 2012年度発掘調査報告書
御殿場市教育委員会	富士山世界文化遺産登録記念企画展 絵図でたどる富士山への街道と信仰
古今書院	関東大震災と土砂災害
吾妻考古学研究所	綾部原遺跡 第5次発掘調査報告書
神奈川県立歴史博物館	キングの塔誕生! 神奈川県庁本舎とかながわの近代化遺産
JR東海	お伊勢まいりに行こう
第一三共株式会社	東中原G遺跡発掘調査報告書 第3点
玉川文化財研究所	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書15 七ノ城遺跡第7地点

寄 贈 者	名 称
横浜都市発展記念館	横浜都市発展記念館紀要 No. 9
扣之帳刊行会	扣之帳
一宮市尾西歴史民俗資料館	生誕120年記念 特別展 市川房枝
あしがら新聞社	水脈&一粒万倍 昴から燦へ
岡田美術館	岡田美術館 名品撰
土浦市立博物館	土浦市立博物館年報 第25号
北条泰時・時頼邸跡発掘調査団	北条泰時・時頼邸跡 発掘調査報告書 雪ノ下一丁目395番地点
三オブックス	黒田官兵衛 乱世を水の如く生きた最強軍師
国際二宮尊徳思想学会	報徳学 No. 10
馬の博物館	馬のアート cartoons×comics
川崎市教育委員会	かわさきの文化財入門 (上)
芦之湯観光協会	歴史の里 芦刈まつり 第21回
藤沢市教育委員会	遠藤菖蒲沢境遺跡 発掘調査報告書
夢工房	近代西相模の報徳運動
遊人工房	祭魚洞 渋沢敬三5315日の記録
吉川弘文館	史窓余話 国史大辞典付録(月報)
相洋高等学校 史跡研究部	国際観光地箱根を支えた裏方の歴史
渋沢栄一記念館	青淵 第777号 12月号
日本博物館協会	全国博物館園職員録
昭和館	昭和館館報
JTBパブリッシング	箱根登山鉄道 125年のあゆみ
藤沢市文書館	藤沢市文書館紀要33
神奈川図書館協会	神奈川の図書館
大田区立郷土博物館	川瀬巴水
神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第18号
ポーラ美術館	ルノワール礼讃 ルノワールと20世紀の画家たち
DeAGOSTINI	日本の100人 今川義元
神奈川近代文学館	生誕140年記念 泉鏡花展 ものがたりの水脈
大成エンジニアリング株式会社	浄業寺跡
品川区立品川歴史館	大井に大仏がやってきた!
小田原市教育委員会	国府津三ツ俣遺跡
茅ヶ崎市教育委員会	茅ヶ崎市遺跡調査発表会
小田原城天守閣	よみがえる小田原城 史跡整備30年の歩み
山川出版社	レンズが撮らえた 幕末明治の富士山
週刊朝日百科	週刊新発見! 日本の歴史 乱世を生きた人々
農山魚村文化協会	季刊地域 農民はアベノミクスに負けない
寒川神社	寒川神社小誌
東村山ふるさと歴史館	徳蔵寺展 元弘の板碑と寺にまもられてきた文化財
国際文化財株式会社	河原口坊中遺跡第5次調査
ナガコーポレーション株式会社	西久保 大屋敷B遺跡
渋沢史料館	渋沢研究 第26号
関東第四紀研究会	関東の第四紀
大雄山最乗寺	大雄 新春号

寄 贈 者	名 称
報徳博物館	報徳の庭 報徳ゼミナール概要集
川崎市立日本民家園	日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅
平塚市博物館	相模川流域の自然と文化 もっと知りたい 私たちのまち
鎌倉文化研究会	鎌倉 116
ぴあ株式会社	さんぼ旅 首都圏版vol. 3
シルク博物館	シルク博物館平成24年度年報
西前川道祖神祭典委員会	小田原市西前川 道祖神
自然公園財団	富士箱根伊豆国立公園 パークガイド 箱根
富士宮市・富士宮市教育委員会	富士山を詠む俳句賞作品集 第11回
神奈川県立図書館	郷土神奈川 第52号
新幹線から始まる列車の旅	おかげ年に行く お伊勢参り
東京文化財研究所無形文化遺産部	無形文化財映像記録作成の手引き
かながわ考古学財団	かながわの考古学研究紀要19
神奈川県図書館協会	神奈川県皇国地誌残稿所在目録
NHKプロモーション	2014年NHK大河ドラマ 特別展 軍師官兵衛
山梨県立博物館	山梨県立博物館調査・研究報告 7 河口集落の歴史民俗的研究
神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会会報 第85号
横浜みなと博物館	横浜港ゆかりの船
調布市郷土資料館	橘屋一家のモノ語り
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館 三十年史
大磯町教育委員会	大磯町文化財調査報告書第49集 大磯宿小島本陣資料目録
名古屋大学減災連携研究センター	神奈川県における関東大震災の慰霊碑・記念碑・遺構(その1 県中部編)
神奈川県教育委員会	神奈川県埋蔵文化財調査報告59

(受付順)

2 資料貸出及び提供一覧

(1) 資料貸出

期間	資料名	方法	貸出先	使用目的	
H25. 4/16- 7/2	規約書（天保14年）、寄木細工箆笥、つたや本『七湯の枝折』より巻2（湯本）、巻9（賽の河原）、一夜湯治一件書類合巻帳	貸出	神奈川県立歴史博物館	特別展「江戸時代 かながわの旅ー『道中記』の世界ー」	展示
H25. 9/30- 12/1	弾誓上人絵詞伝、弾誓上人筆十二光仏、仏説弾誓阿弥陀経（全六巻）、開山上人直説探秘書（一式）、相州塔峰弾誓流極秘血脈伝覚、弾誓流初三重切紙 誓阿、弾誓流後三重之切紙 誓阿、塔峰弾誓流本一通并初三重 三誉融辨、塔峰弾誓流本一通并後三重 三誉融辨、弾誓上人御影、什物不見之品弾誓上人筆名号、	貸出	品川区立品川歴史館	特別展「大井に大仏がやってきた！一養玉院如来寺の歴史と寺宝ー」展示および図録等	展示
H25. 12/2- H26. 3/14	国史跡「箱根関跡」出土遺物 22点	貸出	神奈川県教育委員会生涯学習部文化遺産課	平成25年度かながわの遺跡展	展示

(2) 資料提供

貸出日	資料名（すべて写真）	方法	貸出先	使用目的	
4/3	北条氏直画像	複写	(株)ベストセラーズ	「歴史人」2013年5月号	
4/12	北条氏直画像、北条氏政画像	複写	日本テレビ放送網(株)	「笑神様は突然に・・・」	TV
4/17	鎌倉屋銅版画、古写真：628HAKONE、（箱根宿）、HAKONE	複写	日本放送協会	「こころの時代～宗教・人生～道をひらく-内村鑑三のことば- 第二回 現世と後世」	TV
4/24	彩色古写真：1670.HAKONE LAKE、993.Fujiyama ftom Hakone Village	複写			
4/25	箱根七湯絵図（全7点）	複写	NPO法人小田原ガイド協会	観光案内行事	
4/28	4.KAGO. TRAVELLING CHAIR HAKONE ROAD、箱根旧街道（山籠）	複写	(株)テレビ東京制作	「いい旅・夢気分」2013年5月15日	TV
5/8	1-32「628.HAKONE」	複写			
5/2	「10年のあゆみ」より ロマンسカー、「30周年記念誌」、絵葉書「3000系ロマンスカー」	撮影	(株)TBSテレビ	「みのもんたの朝ズバッ」	TV
5/15	北条早雲画像、北条氏康画像、北条氏政画像、北条氏直画像	複写	(株)コミュニテイネット	『2014年 戦国手帳』『2014年 戦国武将列伝カレンダー』『歴史”とく問?カード<戦国武将編>』	
5/15	弾誓上人絵詞伝、弾誓上人絵伝、花押、軸3点	撮影	品川区立品川歴史館	特別展「大井に大仏がやってきた！一養玉院如来寺の歴史と寺宝ー」展示および図録等	展示
6/27	弾誓上人筆名号、弾誓上人筆十二光仏、弾誓上人御影、仏説弾誓阿弥陀経（全六巻）、念光上人記（念光覚書）、阿弥陀寺古絵図、弾誓上人花押、塔の沢元湯記、塔の沢の記、塔峰弾誓流本一通并初三重 三誉融辨、塔峰弾誓流本一通并後三重 三誉融辨	複写			
5/17	芳盛「東海道」、箱根町立郷土資料館外観	複写	(株)ガラス	JR東『伊勢神宮ガイドブック』及びweb	
5/17	図録「HAKONE1956」より ロマンスカーの写真、町制10周年記念誌「はこね10年のあゆみ」より ロマンスカーの写真	複写	(株)アーバン・コミュニケーションズ	小田原ガス 創業100周年記念映像	

貸出日	資料名	方法	貸出先	使用目的	
5/20	二代広重「箱根七湯一覽」、芳盛「東海道」、初代広重「七湯方角略図」、「箱根七湯図会」(全7点)、つたや本『七湯の枝折』より「芦之湯全図」、古写真：(小涌谷駅停車中の登山電車)、(二子山麓の自動車)、富士屋ホテル一・二号館、箱根旧街道(山籠)、969.FUJIYA HOTEL AT MIYANOSITA、4.KAGO TRAVERING CHAIR HAKONE ROAD、(ハフヤ前のチェア)	複写	(株)日本国際放送	JR東海『伊勢神宮ガイドブック』及びweb	
6/12	館内	撮影	(株)東京ビデオセンター	NHKEテレ「団塊スタイル」	TV
6/19	MIYANOSHITA	複写	(株)日テレアックスオン	日本テレビ『ぶらり途中下車の旅 箱根登山鉄道』(6月29日)	TV
6/21	つたや本『七湯の枝折』より「湯本総湯の図」 同 「湯もとの記」	複写	日本テレビ放送網(株)	日本テレビ『ヒルナンデス』	TV
6/28	北条氏康画像	複写	講談社学術図書第一出版部	『戦国大名の「外交」』	
6/28	正月十一日(文禄二年)付け 北条氏規書状(戦国遺文 後北条氏 4326文書)	複写	柏書房(株)	『戦国大名の古文書』東日本編	
7/12	つたや本『七湯の枝折』より「湯本の全図」、「底倉全図」、「蘆ノ湯全図」	複写	(有)岩田書院	「箱根七湯の道ー通信総合博物館所蔵『箱根湯治場見取絵図控』を中心にー」『温泉の原風景 論集温泉学3』	
7/12	北条早雲画像	複写	朝日新聞出版分冊百科編集部	『新発見! 日本の歴史』26号(戦国時代1)	
7/13	G3.FUKUZUMI IMOTO、七湯方角略図	複写	早田旅人	小田原ライブラリー『近代西相模の報徳運動ー報徳運動の源流と特質ー』	
8/23	広重「七湯方角略図」	複写			
8/10	1819年(明治24年)10月5日 箱根町他二ヶ村組合議会議事録	複写	個人	地方自治制度の研究	
8/21	北条早雲画像、北条氏綱画像、北条氏康画像	複写	(株)第一学習社	高等学校地歴副教材『最新日本史図表』	
9/2	宗祇像	複写	三島市教育委員会	三島市郷土資料館館内展示、記念展、ポスター、チラシ	展示
9/28	北条早雲画像、北条氏綱画像、北条氏康画像、大室宗碩画像	複写	東村山市教育委員会ふるさと歴史館	特別展「徳蔵寺展ー元弘の板碑と寺にまもられてきた文化財ー」展示、図録	展示
10/3	北条早雲画像	複写	(株)ユニフォトプレスインターナショナル	『最新日本史図説』	
10/10	E5B.FUJI FROM OYOMETOGE、乙女峠、993.Fujiyama ftom Hakone Village、(箱根名所) 芦ノ湖倒富士、(長尾峠芙蓉閣)、A297.FUJIYAMA FROM HAKONE LAKE、E49.HAKONE LAKE、(芦ノ湖と釣り)	複写	(有)リゲル社	(株)山川出版『レンズが撮らえた日本の富士山』レンズが撮らえたシリーズNo. 9	
10/15	北条早雲画像、北条氏康画像、北条氏政画像	複写	朝日新聞出版分冊百科編集部	週刊朝日百科「新発見! 日本の歴史」27号	
10/15	二代広重「箱根七湯一覽」、つたや本『七湯の枝折』より「芦之湯風呂内の全図」	複写	ヨシモト新企画	「美しくなる入浴術ーお風呂と温泉で心・からだ・素肌をきれいにするー」	

貸出日	資料名	方法	貸出先	使用目的	
10/28	神奈川県下箱根電燈発電所之景（馬車鉄道銅版画）	複写	㈱PHP研究所	電子書籍『チャーチルが愛した日本』	
11/2	北条氏康画像	複写	㈱ユニフォトプレスインターナショナル	帝国書院『図説日本史通覧』	
11/3	つたや本『七湯の枝折』より「太閤石風呂の図」及び本文、「底倉全図」、「芦之湯風呂内の全図」	複写	㈱小学館	「サライ」3月号	
11/14	北条氏康画像	複写	㈱山川出版	『ビジュアル版日本史図録』	
11/15	つたや本『七湯の枝折』より「芦之湯風呂内の全図」、温泉番付	複写	箱根カントリー倶楽部	「箱根カントリー倶楽部60周年史」	
11/22	国史跡「箱根関所」発掘調査写真：大番所・上番休息所周辺全景、大番所南側水吐、京口千人溜り山側南東隅検出井戸、大番所湖側斜面土留石垣（南から）、足軽番所礎石群、石段検出状況	複写	神奈川県教育委員会生涯学習部文化遺産課	「平成25年度かながわの遺産展」展示パネル	展示
12/4	北条早雲画像、北条氏康画像	複写	㈱コミュニティネット	クリアファイル『武将系図』、『戦国武将列伝万年カレンダー』	
12/5	北条氏政画像、北条氏直画像	複写	㈱NHKプロモーション	NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」図録	展示
12/9	つたや本『七湯の枝折』より「湯本の全図」	複写	レイジーオフィス	㈱ユーキャン刊「悠々漫遊日本の旅」	
12/12	郷土資料館外観、展示全景、つたや本『七湯の枝折』より「底倉の全図」、古写真（かご・チェア・人力車）、（乗合自動車写真）、（箱根宿）	複写	岡田知子	㈱角川マガジズ「横浜Walker」2014年1月20日号	
12/18	「952.View of Tonosawa」1点				
12/14	七福神、マトリョーシカ、組子細工、挽き物細工の道具	撮影	㈱オフィスユラ	ぴあ「散歩族 首都圏版2」	
12/16	北条氏康画像	複写	デジタルスキップステーション	埼玉県編集映像	
12/26	乙女道路開通時の写真	複写	読売新聞横浜支局	平成26年1月上旬の朝刊	
12/26	初代広重「箱根湖水図」、箱根七湯図会（全7点）、「七湯方角略図」	複写	㈱NEXTEP	NHK「キッチンが走る！」平成26年1月10日ほか	TV
1/6	早雲寺本堂襖絵、竜虎図写真3点、芹椋、伝雪村筆羅漢図3幅、北条氏歴代文書3点、宗祇騎馬図	複写	㈱レマン	JR東日本 新幹線車内誌「トランヴェール」2014年3月号	
1/21	箱根七湯温泉図、箱根湯本福住九藏宅図、相模国足柄下群湯本地内三枚橋ヨリ旭橋ニ至ル新道開発之図、車道開拓費勘定帳、七湯方角略図、福住旅館全景、福住旅館広告、馬車鉄道定期券、箱根七湯銅版画帳、馬車鉄道湯本駅、湯本温泉全景	複写	㈱アルファ映像	JCOM「歴史を歩く」第19回『福住正兄と馬車鉄道』使用	
1/14	七福神（挽物細工）写真	複写	㈱ウランティア	JTBパブリッシング るるぶ情報版『るるぶ箱根'14-'15』	
1/14	北条氏康画像	複写	㈱山川出版社	平成26年1月上旬の朝刊使用	
1/18	北条早雲画像	複写	㈱アフロ	学研教育出版刊「ニューワイド 学研学習百科」デジタル教材資料	

貸出日	資 料 名	方法	貸 出 先	使 用 目 的	
1/24	登録有形文化財「松の茶屋」写真	複写	テレビ大阪(株)	テレビ大阪・テレビ東京全国ネット「和風総本家」 2014年2月13日	TV
1/28	一光斎芳盛「東海道 箱根」	複写	(株)ガラス	JR東海「おかげ年に行きお伊勢参り冊子」使用	
1/28	北条早雲画像、虎の朱印	複写	(株)レマン	JR東海 新幹線車内誌「トランヴェール」2014年3月号	
1/28	古い道具（旅道具、生活道具）	撮影	個人	子どもの学習資料として	
1/29	町史跡「東光庵熊野権現旧跡」	複写	(株)四谷工房	JTB「楽楽箱根」2014年4月	
2/6	箱根馬子唄の碑				
2/5	神奈川県下箱根電燈発電所之景	複写	千田晃平	明治の銅版画の調査・研究	
2/6	北条早雲画像	複写	(株)オフィス・ツアー・ワン	BS11「とことん歴史紀行」 2014年2月21日	TV
2/15	北条氏直画像	複写	(株)ネクサス	BS-TBS「謎解き！江戸のスズメ」 2014年3月3日	TV
2/19	北条早雲画像、北条氏直画像、北条氏直画像	複写	(株)コミュニティネット	『戦国武将トランプ』（仮称）	
3/20	広重 保栄堂版東海道五十三次 箱根湖水図	複写	箱根ジオパーク推進協議会	『箱根ジオパーク新聞』第10号（インターネット版） 平成26年3月15日	
3/18	古写真 富士屋ホテルでくつろぐ外国人たち	複写	(株)TBSビジョン	BS-TBS「美しい日本に出会う旅」	TV
3/27	山駕籠	撮影	秋田公立美術大学	研究のため	

「提供方法」凡例
複写：ポジ、デジタル
撮影：現物などの撮影

「使用目的」凡例（成果品の形状）	
TV：テレビ放映	展示：展示物
無印：印刷物等	

3 寄贈資料・購入図書一覧

(1) 寄贈資料

登録	資 料 名	寄贈者	種別	点数
8/31	書籍(明治から昭和初期にかけて)	個人	歴史	6
9/10	木鉢、湯たんぼ、ちゃぶ台、カメラ三脚、保温機能付き電気炊飯器、ラジオ付カセットテープレコーダー	個人	民俗	6
2/19	書籍(江戸から昭和初期にかけて)	個人	歴史	18
2/19	除草機(1連2機、2連2機)	個人	民俗	4
3/21	写真(昭和33年6月3日 日本温泉協会総会)	個人	歴史	4

4 資料館で出版した冊子

(1) 箱根叢書

No	タイトル名	著者	発行年月
1	箱根関所物語	加藤利之	1985. 3
2	箱根の鳥	箱根野生鳥類調査団	1985. 3
3	箱根の植物	松浦正郎・佐藤勝信	1985. 3
4	はこね昔がたり	勝俣孝正・加藤利之・田代謙二	1986. 3
5	箱根を歩く－自然と歴史を訪ねて－	箱根の自然と文化研究会	1986. 3
6	箱根の魚類	栗本和彦・上妻信夫 石原龍雄・橘川宗彦	1986. 3
7	箱根を巡る古城30選	小田原城郭研究会	1987. 3
8	箱根の文学散歩	箱根文学研究会	1987. 3
9	箱根細工物語－漂泊と定住の木工芸－	岩崎宗純	1988. 3
10	箱根の逆さ杉	大木靖衛・袴田和夫・伊東博	1988. 3
11	はこね昔がたりⅡ	安藤正平・澤田安蔵	1988. 3
12	仙石原湿原の四季	井上香世子 他	1988. 8
13	箱根の石仏	澤地弘	1989. 3
14	箱根の昆虫－はこねを食べる妖精たち－	佐藤勝信	1989. 7
15	サルのざぶとん－箱根山動物ノート－	田代道彌	1990. 3
16	早雲寺 －小田原北条氏菩提所の歴史と文化－	早雲寺研究会	1990. 3
17	改訂版 箱根を歩く	箱根の自然と文化研究会	1991. 3
18	箱根と外国人	児島豊	1991. 3
19	あるく・みる 箱根八里	田代道彌	1991. 3
20	はこね昔がたりⅢ	安藤正平	1992. 3
21	箱根の樹木	八田洋章	1992. 3
22	旅の詩人 宗祇と箱根	金子金治郎	1993. 1
23	箱根火山探訪	袴田和夫	1993. 3
24	箱根二十湯－やさしい温泉入門－	平野富雄	1994. 3
25	箱根山の近代交通	加藤利之	1995. 3
26	あるく・見る 萬葉集「足柄箱根歌」	田代道彌	1996. 3
27	箱根旧街道「石畳と杉並木」	大和田公一・伊藤潤	1997. 3
28	中世の箱根山	岩崎宗純	1998. 3
29	ケンペル・バーニー祭 －箱根自然保護運動のあゆみ－	ケンペルとバーニーを讃える会	1998. 11
30	箱根Q&A125－その歴史と自然－	箱根叢書刊行企画委員会	2000. 3

(2) 郷土資料館資料集

No	タイトル名	発行年月日
1	第1集 旧大平台名主藤曲家近世文書	1994. 3. 31
2	第2集 箱根彩景ー古写真に見る近代箱根のあけぼのー	2002. 3. 20

(3) 調査研究報告書

No	タイトル名	発行年月日
1	「湯治の道」関係資料調査報告書	1997. 3. 31
2	「街道」関係資料調査報告書	2001. 3. 31

(4) 企画展展示図録他

No	タイトル名	発行年月日
1	早雲寺の名宝	1984. 10. 28
2	早雲寺の名宝	1985. 10. 27
3	和宮様香華院 阿弥陀寺の遺宝	1986. 10. 27
4	箱根神社の歴史と祭り	1987. 10. 25
5	興福院と賽の河原	1988. 10. 20
6	伝統的工芸品指定五周年記念 箱根寄木細工	1989. 10. 29
7	連歌師宗祇ーその生涯と終焉の地箱根湯本ー	1990. 11. 3
8	箱根旧街道石畳と杉並木	1992. 11.
9	早雲寺の歴史と文化	1993. 10. 30
10	箱根の鉄道ー馬車鉄道から山岳鉄道開通までー	1994. 7. 21
11	浮世絵特別公開 箱根の物語絵ー金太郎・箱王丸・勝五郎と初花ー	1994. 10. 29
12	明治の模範村 箱根権現領旧元箱根村の歴史	1995. 7. 20
13	おじいさん・おばあさんたちの学校	1995. 10. 27
14	開け行く別荘地・箱根	1996. 10. 25
15	描かれた箱根ー絵画資料で見る箱根の原風景ー	1997. 7. 26
16	外国人の見たHakoneー避暑地箱根の発見ー	1997. 10. 31
17	白川洗石とその周辺ー明治大正期を生きた木象嵌細工師たちー	1998. 10.
18	箱根町の指定文化財	2000. 10.
19	没後五百年遠忌 旅の詩人ー連歌師宗祇ー	2001. 8. 1
20	箱根八里ー難所東坂を登るー	2001. 10. 27
21	箱根八里地図	2001. 10. 27
22	箱根は箱根ー小説「箱根山」の風景ー	2002. 10. 12
23	福住旅館金泉楼・萬翠楼ー明治の息吹を今に伝える建築と書画	2003. 9. 27
24	七湯の枝折	2004. 9. 25
25	HAKONE1956・・・50年前の箱根	2006. 9. 30
26	箱根山中 村むらの仏たち	2007. 10. 25
27	まつりの風景～箱根の年中行事・正月行事から春祭りまで～	2009. 10. 17
28	東海道山の関所・箱根/うみの関所・新居	2010. 10. 20
29	まつりの風景Ⅱ～箱根の年中行事・初夏から歳末まで～	2012. 9. 29
30	バス、天下の険をいく ～箱根の自動車100年～	2013. 9. 30

(5) 館 報

全30号 第1号 1984年3月 ～第30号 2014年2月

但し、第2号、3号、4号、5号、6号、7号、9号は、調査活動報告書との合併号

(6) One Coin シリーズ

No	タイトル名	発行年月日
1	One Coin シリーズ① 箱根探訪ハンドブック 芦ノ湖一周コース	2009. 5. 15
2	One Coin シリーズ② 箱根探訪ハンドブック 宮城野コース	2009. 12. 25
3	One Coin シリーズ③ 箱根探訪ハンドブック 芦之湯コース	2012. 3. 10
4	One Coin シリーズ④ 箱根探訪ハンドブック 仙石原コース	2013. 3. 31
5	One Coin シリーズ⑤ 箱根温泉の歴史	2013. 3. 31
6	One Coin シリーズ⑥ 箱根探訪ハンドブック 二ノ平・強羅コース	2014. 3. 31
7	One Coin シリーズ⑦ 近代建築 富士屋ホテル	2014. 3. 31

○箱根町立郷土資料館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、考古資料、民俗資料、文書資料等の箱根の歴史に関する資料を収集、保管及び展示等を行うとともに、これらの資料に関する調査研究と教育普及活動等を行い、町民の文化の向上等に資するため、郷土資料館を箱根町湯本266番地に設置する。

(職員)

第3条 郷土資料館に、館長その他の必要な職員を置く。
(入館制限等)

第4条 箱根町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当する場合には、郷土資料館の入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) その他郷土資料館の管理上不相当と認められるとき。

(観覧料)

第5条 郷土資料館の展示品を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 観覧料の額は、次表のとおりとする。

区分	観覧料の額(1人1回につき)			
	一般(高校生以上の者)		小学生及び中学生	
	個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
一般展示	200円	150円	100円	50円
特別展示	300円以内で町長が定める額			

3 小・中学生(団体は除く。)が土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に観覧しようとするときは無料とする。

(観覧料の減免)

第6条 町長は、前条の規定にかかわらず、町民が社会教育の団体活動として観覧する場合及び町内の学校が教育課程に基づく学習活動として観覧する場合並びに公益その他特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第7条 すでに納付された観覧料は、返還しない。ただし、観覧しようとする者の責めに帰さない理由により観覧できなくなった場合、その他正当な理由がある場合は、この限りでない。

(損害賠償)

第8条 入館者が郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷し、または亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、またはその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、郷土資料館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

1 この条例は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成6年3月22日条例第9号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日条例第15号)

この条例は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第5条第2項の改正規定は、平成11年7月1日から施行する。

附 則(平成17年6月27日条例第13号)

この条例は、公布の日から施行する。

○箱根町立郷土資料館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、箱根町立郷土資料館条例(昭和58年箱根町条例第6号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 郷土資料館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要であると認めるときは、開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第3条 郷土資料館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週水曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する国民の祝日に当たる日を除く。)
- (2) 毎月の最終月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その翌日)
- (3) 12月28日から翌年1月4日まで

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項に規定する休館日を変更し、又は臨時に休館日を設定することができる。

(入館券の交付)

第4条 郷土資料館の資料(以下「資料」という。)を観覧しようとする者は、入館券(第1号様式)の交付を受けなければならない。

2 入館券の交付を受けた者は、退館の際これを返還しなければならない。

(観覧券の交付)

第5条 観覧料を納付した者に対しては、観覧券(第2号様式又は第3号様式)を交付する。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧料を免除する。

- (1) 町民が社会教育の団体活動として観覧するとき。
- (2) 町内の学校が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。
- (3) 町が主催する資料に関する講演会、研究会等の活動として観覧するとき。
- (4) その他町長が公益上特に必要と認めるとき。

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧料を減額する。

(1) 町民以外の者が社会教育の団体活動として観覧するとき。

(2) 学校(町内の学校を除く。)が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。

(3) その他町長が特に必要と認めるとき。

第8条 観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減額(免除)申請書(第4号様式)を町長に提出し、その承認を受けなければならない。

(優待券)

第9条 教育委員会は、必要と認める者に対して優待券を発行することができる。

(学習室の利用)

第10条 学習室は、学校教育、社会教育等に関する活動のために利用することができる。

2 学習室を利用しようとする者は、学習室利用申請書(第5号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

(入館者の遵守事項)

第11条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 指定された展示品以外の展示品に手を触れないこと。

(2) 許可なく展示品又は資料を模写又は撮影しないこと。

(3) 定められた場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。

2 前項各号に掲げるもののほか、教育委員会は、必要に応じ入館者の行為を制限することができる。

(資料の館外貸出し)

第12条 博物館、図書館、学校その他教育委員会が適当と認めた者は、資料の館外貸出しを受けることができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、教育委員会に資料館館外貸出承認申請書(第6号様式)を提出し、その承認を受けなければならない。

3 資料の館外貸出期間は、貸出しを受けた日から30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを延長することができる。

4 教育委員会は、館務の都合により必要があるときは、貸出期間中であっても、貸出しをしている資料の返還を求めることができる。

5 資料の館外貸出しを受けた者が、貸出期間中に資料を損傷又は亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、又は損害を賠償しなければならない。

(館外貸出資料の利用方法)

第13条 資料の館外貸出しを受けた者は、当該資料を承認を受けた利用の目的以外に利用してはならない。

(資料の寄贈及び寄託等)

第14条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料の館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行うことができない。

3 教育委員会は、資料の寄贈を受けた場合にあっては寄贈資料受領書(第7号様式)、資料の寄託を受けた場合にあっては資料受託書(第8号様式)を交付するものとする。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、郷土資料館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第4号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○箱根町立郷土資料館処務規程

(趣旨)

第1条 箱根町立郷土資料館(以下「資料館」という。)における処務については、この訓令の定めるところによる。

(事務分掌)

第2条 資料館における事務分掌は、おおむね次のとおりとする。

(1) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。

(2) 予算に関すること。

(3) 物品の収納及び保管に関すること。

(4) 資料館の庶務に関すること。

(5) 施設及び設備の維持管理に関すること。

(6) 観覧券及び物品等の販売にかかる収納に関すること。

(7) 施設及び資料等の使用、利用承認に関すること。

(8) 館員の服務に関すること。

(9) 特別展の開催に関すること。

(10) 渉外及び宣伝に関すること。

(11) 資料館資料の収集・保管及び調査研究に関すること。

(12) 資料館資料の展示・閲覧及びその他教育普及に関すること。

(13) 生涯学習課との連絡調整に関すること。

(専決)

第3条 館長の専決事項は、別表に定めるとおりとする。

2 館長は、前項に定める専決事項以外のものであってもその事務内容が専決事項に準ずるものは、専決することができる。

(専決事項の制限)

第4条 館長は、前条の規程にかかわらず、重要若しくは異例と認められる事項又は疑義のある事項については、上司の決裁を受けなければならない。

(代決)

第5条 館長が不在のときは、あらかじめその事務処理について、特に指示を受けた事項又は緊急やむを得ない事項については、上席の館員がその事務を代決することができる。

2 代決した事項については、施行後速やかに館長の後閲を受けなければならない。

(日誌及び日報)

第6条 館長は、毎日、日誌に事件及び処務の概要を記録して、1週間ごとに上司の検閲を受けなければならない。

2 館長は月報を作製し、翌月3日までに上司へ報告しなければならない。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、資料館の処務については、教育委員会の処務の例による。

附 則

この訓令は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教委訓令第1号)

この訓令は、平成11年4月1日から施行する

附 則(平成14年5月20日教委訓令第1号)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

※ 添付様式の掲載は省略

入館者の声

資料館の休憩コーナーに置いてある雑記帳に、多くの来館者から様々なご意見を頂戴いたしました。その数は、2012年4月から1年間で約100件ありました。今回はその中から、いくつか抜粋しました。

- 箱根の子どもたちの作った新聞を楽しく読ませてもらいました。これからも素敵な情報を発信してってください。
- 箱根温泉の歴史について詳しく知ることが出来ました。寄木細工の作り方がとても興味深かったです。
- わらじは歩くうちに足裏に沿い、足を守ることができる、また通気性もいい。1本のヒモから履き物を作った昔の人は偉いと改めて思いました。
- 当時の生活、旅の有様が良く理解できました。昔の人は随分と苦労されたと実感しました。
- 箱根の歴史が知れる場所があったなんて箱根に何回も来ているのにわからなかったです。
- 興味深い資料がたくさんあり、箱根が身近に感じられました。
- 大八車の由来がわかり、ためになりました。
- 土地を愛すること、自慢すること、生き生きとした町を支える場の一つだと感じました。
- 温泉旅行に来て、この資料館に立ち寄りました。大変勉強になり、歴史が染み込み、自然に囲まれたこの地で心が安らぎました。
- この資料館が子どもたちの箱根人生の思い出の始点になればと思います。
- 起伏の激しいこの土地でも、めげずに頑張り前へと歩み続けてきたことで、今の箱根があるのだと感じました。
- 家族と協力して作ることができ、よい機会になりました。
- 実際履く用のわらじを作ったことがあったが、工程がほとんど同じで驚きました。ストラップとして活用したいと思います。
- 昔の人は、履くもののためにこんなにも時間をかけて作っていたことに感心しました。
- 母と一緒に来ました。イイ年して仕事以上に夢中になってしまいました。

箱根町立郷土資料館

館 報 第 31 号

印 刷 平成 27 年 3 月 2 日
発 行 日 平成 27 年 3 月 2 日
編 集 箱根町立郷土資料館
発 行 〒250-0311
神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266
TEL 0460(85)7601 (生涯学習課)
ホームページ http://www.town.hakone.kanagawa.jp/hakone_j/ka/shougai/hlm
メールアドレス kyoudo@town.hakone.kanagawa.jp
